

# 福島大学教職大学院

## 互恵性を生み出すマッチング ～院生と連携協力校がWin-Winになるシステム～

### 院生が連携協力校を決定するまでの流れ 20230306 Ver.

福島大学大学院教職実践研究科（教職大学院）

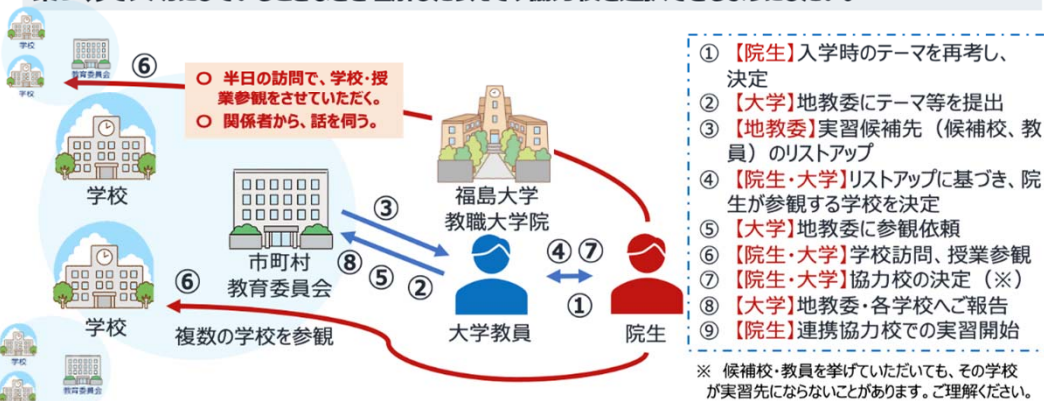
#### 課題

昨年度の認証評価によって、院生のテーマと実習校（クラス、教員）のテーマが合わないことが多く課題とされ、改善することが急務である。

#### 課題が生じる背景

受験時に出されたテーマ（研究計画）等に基づき、市町村教育委員会と相談し、協力校を決定しているが、入学してから得た新たな視点等を基に、テーマを変更することがある。

入学後、院生は、自分のテーマを再考するとともに、複数の学校を参観し、学校の取組や先生方が授業づくりで大切にしていることなどを理解したうえで、協力校を選択できるようにしたい。



### M1ファーストカンファレンスの実施

入学してからの1か月間は、小グループで協議したり、プレゼンを行ったり、研究者教員から研究の仕方のレクチャーを受けたりして、自分の研究テーマを深掘りする時間。

M1だけでなく、M2や全教員も参加し、多様な視点から研究テーマを検討することで、その後も、協働的に学ぶ意識が醸成される。

## 院生の研究テーマと連携協力校の取組をマッチング

M1ファーストカンファレンスを通して深掘りされた院生のテーマを市町村教育委員会を通して、公立学校に公開。研究テーマや研究概要を理解した上で、協力できる学校に意思表示をしていただく。

院生が候補校を訪問し、学校や授業を参観し、研究概要を説明したり、候補校の取組を伺ったりすることを経て、連携協力校を決定していく。



福島大学大学院  
教職実践研究科（教職大学院）

### 新しい取組を紹介します！

#### M1ファーストカンファレンス

～ 入学直後に、自分の研究テーマを、  
様々な視点から見つめ直す時間 ～

#### 入学時の研究テーマ

##### M1FC

- ① 4/5
- ② 4/6



小グループに分かれて、研究テーマを説明し合い、新たな視点を得る。  
学部卒院生/現職派遣院生  
小/中/高/特別支援

##### M1FC

- ③ 4/11

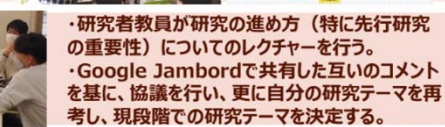
①②での視点を基に、自分の研究テーマを再考し、全員の前でプレゼンテーションを行う。  
発表を聞き、Google Jambordにコメントを書き、全員で共有する。



##### M1FC

- ④ 4/12
- ⑤ 4/14

研究者教員が研究の進め方（特に先行研究の重要性）についてのレクチャーを行う。  
Google Jambordで共有した互いのコメントを基に、協議を行い、更に自分の研究テーマを再考し、現段階での研究テーマを決定する。



##### M1FC

- ⑥ 4/26

現段階での研究テーマについての概要、研究計画等を全員の前でプレゼンテーションする。



M1ファーストカンファレンスについての振り返り

多様な視点から  
検討されたテーマ



- ・ 入学から1か月間をかけて再考した研究テーマ及び研究の概要を一覧表にまとめる。
- ・ 一覧表を、県北域内の市町村教育委員会及び附属小・学校に送付する。
- ・ 院生の研究テーマと現場の教員や学校の課題意識とのマッチングを図り、小・中学校の連携協力校を決定する。